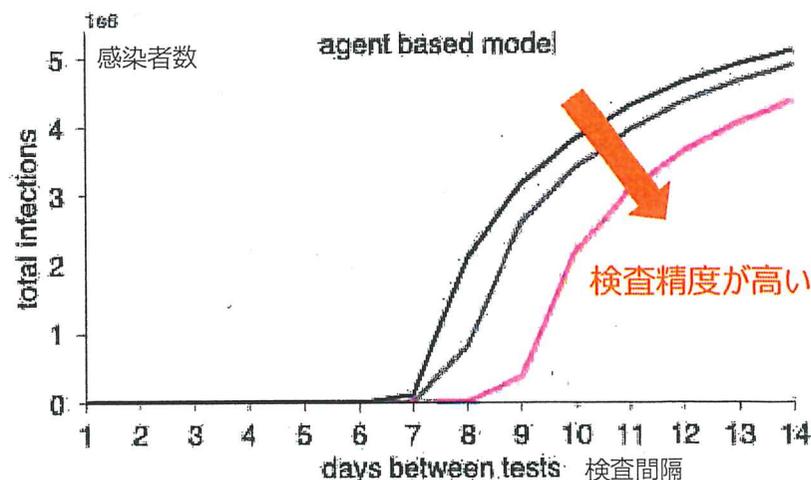
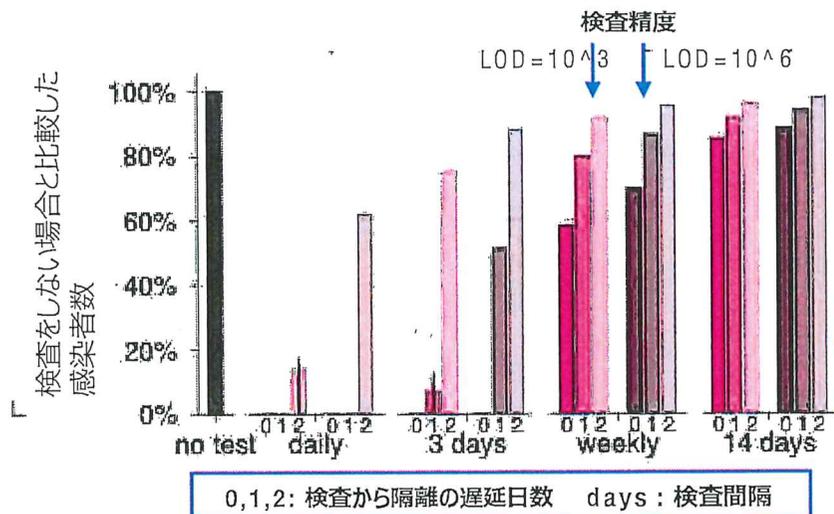


AI等シミュレーション開発事業

3. 感染者数等のシミュレーション 既存の研究事例

- P7で示したコロラド大学ボルダー校、ハーバード大学他で実施されている検査戦略シミュレーションでは、感度の違う検査法毎に、検査間隔、陽性確定から隔離までの時間を変えた時に感染がどう広がるかをシミュレーションし、検査精度がある一定以上あれば、さらに精度を追求するより、検査頻度を高くし、検査から隔離の遅れを最小化した方が感染者数を抑え込めるという結果が得られている。



Larremore, D., et al., Test sensitivity is secondary to frequency and turnaround-time for COVID-19 surveillance, MedRxiv, 2020を基に、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室において編集